

# 農業の活性化

## 安堵町農業委員会

### 1. 安堵町の概要

奈良盆地の北西部に位置し、南に大和川、西は富雄川に囲まれた豊かな土地と自然に恵まれた安堵町は、飛鳥時代の古来より、飽波郷として栄えたように、わが国最古の歴史と文化を受け継いでいる。

豊かな自然に恵まれた本町は、農業を主産業として栄えてきましたが、時代の変遷とともに道路などの基盤施設が整備されたことにより、工場の誘致や大都市に隣接していることから住宅団地が建設され、安定した発展を続けてきた。

本町の圃場は低地にあるため大半が水田であり、水稻を主とした兼業農家がほとんどである。

### 2. 農業委員会の取り組み

安堵町農業委員会では、平成7年地元の農業者の結束を図り、安堵町農業者リーダー会議の発足を促し、農地保全の受委託事業に取り組んでいる。

安堵町農業者リーダー会議に、平成25年4月1日、遊休農地対策部会を設置し、遊休農地解消にも取り組んでいる。



ほっと安堵朝市会場の風景

また、地産地消をめざして平成10年には「ほっと安堵朝市実行委員会」を立ち上げ、平成19年1月、会員個々の出資により新店舗を建設し、安全・安心で安価な地元で取れた野菜などを販売し、地域住民の方々に地産地消を推進している。



今年で第22回を迎える「産業フェスティバル」において、農作物の品評会を実施し、農作物の質の向上と、農業者の意識改革に取り組んでいる中、食育の一環として、学校給食の食材の提供、中学校の新学習指導要領への取り組み等を積極的に支援している。

### 3. 今後の課題

農業の高齢化は、本町においても深刻な問題であり、今後の農業行政においても最重要課題である。

発足より17年を迎えた農業者リーダー会議も高齢化が進み、新規入会者が減少するなか、水田の管理委託が増加し、全ての希望者の受け入れが困難な状況になりつつあるのが現状である。

本町農業委員会は、担い手(農業者リーダー・認定農業者等)の育成並びに地産地消を目標とし6次産業化、農業法人、集落営農組織の設立に今後も粘り強く取り組んでいきたい。



安堵町産業フェスティバルの風景